

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

高砂香料工業株式会社（証券コード:4914）

【据置】

長期発行体格付 格付の見通し	A- 安定的
-------------------	-----------

■格付事由

- (1) 国内最大手の香料メーカー。フレーバー（食品香料）の他、フレグランス（洗剤などに使われる香料）やアロマイングリディエント（メントールなどの合成香料）、ファインケミカル（医薬品中間体など）を展開している。21/3期の売上高構成でみると日本43%、米州23%、欧州17%、アジア17%と海外売上高の構成が約6割を占めている。新中期経営計画「NGP-1」（22/3期～24/3期）では、グローバル経営基盤の整備や海外拠点事業部門の強化に向けた取り組みなどを企図している。
- (2) 良好な事業基盤に変化はない。国内市場では上位メーカーへの寡占度が高く、大手飲料メーカーやトイレタリーメーカーなどと安定した取引関係が維持されている。また、海外メーカーとの取引獲得にも注力しており、新規採用などの成果が表れている。近年の業績は原料価格高騰による影響も見られたが、悪化局面でも黒字を確保出来ている。今後、国内外での事業基盤強化に向けた設備投資を積極化していく計画だが、健全な財務体質を維持出来ると考えられる。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- (3) 22/3期会社計画では営業利益70億円（前期比11.3%増）と増益を計画している。コロナ禍で落ち込んだ飲料向け香料などの需要回復や、前期比で円安基調となっていることがプラス要因となる見込み。今後、事業基盤の強化に向けて研究開発費などの諸経費が増加するとみられる。これにより、中計では23/3期は減益に転じる計画となっている。コスト増加に加え、原燃料価格の動向に留意する必要があるが、食品や衛生用品向けの需要が安定していることから、引き続き、手堅く利益を確保出来るとみられる。
- (4) 22/3期第2四半期末の自己資本比率は55.1%（21/3期末54.2%）、DEレシオは0.40倍（同0.44倍）と改善基調で推移している。23/3期から次期中計にかけて、既存設備の大規模修繕や合成事業生産体制の再構築などで最大200億円規模の設備投資を行う可能性がある。これにより有利子負債の増加が予想されるが、DEレシオを0.5～0.7倍に抑えるなど一定の財務規律の下で投資を実施していく方針であり、財務構成の悪化は限定的なものに留まると考えられる。

（担当）藤田 剛志・金井 舞

■格付対象

発行体：高砂香料工業株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年11月25日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：藤田 剛志
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「化学」(2012年3月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 高砂香料工業株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル